

近隣型の商店街における地区交通問題に関する調査研究

～松陰神社通り商店街を対象として～

国土舘大学大学院 学生会員 ○谷口和幸
株式会社キクテック 非会員 田中洋介
株式会社松家住宅 非会員 勝呂克俊
国土舘大学工学部 正会員 寺内義典

1. 研究の背景と目的

住宅地における面的交通安全施策については多くの研究成果^{たとえば1) 2)}などがあるが、商業地区のものは中心市街地がほとんどで、近隣型商店街の交通問題を対象とするものは少ない。

本研究では、近隣型商店街を対象として、走行車両の速度、通過交通、駐車車両について調査し、対象地区の問題を定量的に把握する。この結果をから、通過交通削減と速度低下のための対策を検討し提案した。

2. 対象地区の概要

調査対象である松陰神社通り商店街周辺地域は、環状7号線、世田谷通りといった幹線道路に隣接しているため、幹線道路の渋滞を避けるための車両が、主要生活道路を通さず流入してくるといった問題が発生している。

また、搬送車両が荷捌きのために店舗前に駐車することによって道路が狭められ、歩行者や通過車両が通行しにくくなっている問題がある。

3. 地区交通問題の調査

(1) 速度超過

松陰神社通り商店街に、トラフィックカウンターを世田谷通り側と松陰神社側の2箇所に設置し、一週間分の走行車両の台数と速度を測定した。その結果、25(平日)の交通量と速度を図-2に示す。交通量は休日より平日のほうが多い。車両速度は休日と平日の6時～14時は変わらないが、16時以降から速度が上がり、30km/h以上となっている。

(2) 通過交通

通過交通問題を調査するために、ナンバープレート調査を行い通過交通の量を把握した。ナンバープレート調査より商店街の入り口であるAからEへ通り抜ける交通量を調査した(図-3)。特に7時～9時の交通量が最も多く、165台の車両が流入した。うち87台(割合にすると53%)は地区に関係のない車両と推測される。なお、16時～18時は通行止め規制により通過交通の抑制に一定の効果を挙げている。



図-1 幹線道路と商店街の位置

表-1 各調査の日時、時間、箇所

	調査日時	時間	箇所
速度調査	H16.11.22月 -28日	終日	南・北に 2箇所
通過交通 調査	H16.11.30火	7:00-9:00 14:00-16:00 17:00-19:00	商店街 及び周辺 12箇所
駐車車両 調査	H16.10.18月	7:30-19:00	全域

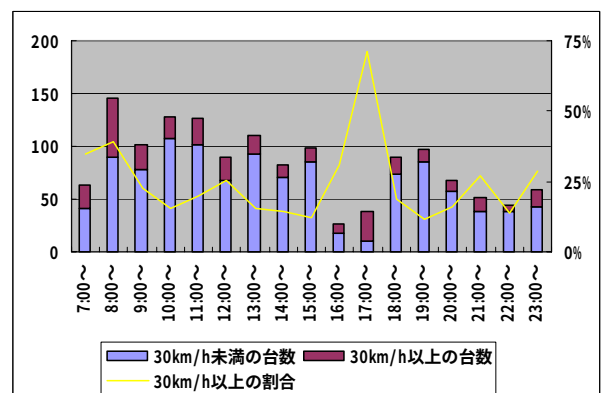


図-2 平日の30km/h以上の交通量

Keyword: 地区交通、交通調査、近隣型の商店街

連絡先: 連絡先 〒154-8515 東京都世田谷区世田谷 4-28-1 国土舘大学大学院 E-mail: terauchi@kokushikan.ac.jp

（３）駐車車両

商店街の危険個所を把握するために、駐車車両調査を行い台数と場所を把握した。駐車車両のナンバープレートと時間を記録し、分類別に分けた。各々の調査の日時、時間、箇所を表－１にまとめた。特に駐車車両が多かったのは、コンビニ等の店舗前にスペースがある場合であった。９時に３台、１３時に４台、１４時に４台と駐車が多い。

４、問題点の整理と改善策

通過交通と速度超過への対策としては、一般にはデバイスの設置などが考えられる。一方で、通過交通の経路と幹線道路を利用した経路の時間差をセンサストラフィックカウンターの調査結果より計算した結果（表－２）、朝の時間帯では２分２９秒あることがわかった。所要時間の差が大きく、デバイスの設置だけでは通過交通が排除できない恐れがある。７～９時における通過交通は、通行規制によって排除されるべきである。商店街であることから、あらたな自動車通行規制には抵抗が大きい。一方で調査より南端の交差点から流入する交通の大半が通過交通であることがわかったため、朝方の７時～９時の時間帯に南側の直進を禁止にする対策が提案された。

また、荷捌き車両の流入規制も店舗の営業に問題がある。開店時間前の午前中は歩行者交通量も少ないことから、午後の搬入時間を午前に変更する対策も提案された。これらより提案された改善策を図－５に示す。

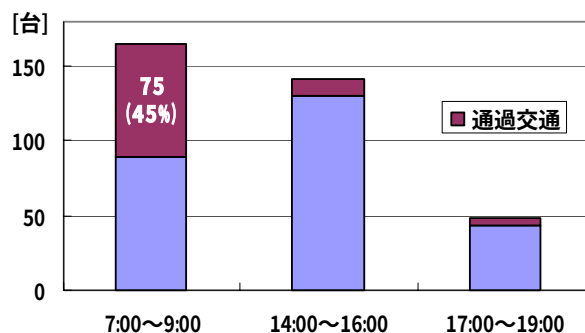
５、結論

本研究では、松陰神社通り商店街を対象地区とし、通過交通と速度調査と車両調査を行い、その結果、速度調査と通過交通調査から夕方の速度超過と朝方の通過交通が問題であることがわかった。また、駐車車両調査から、スペースのある場所に駐車が集中する箇所があることがわかった。それらのことから、通過交通の排除と速度抑制を図る対策について検討した。

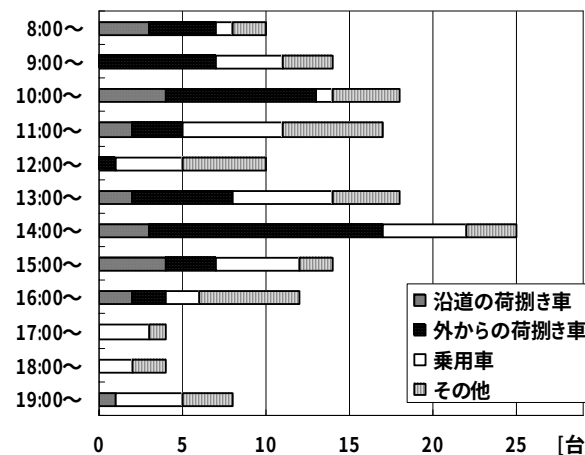
なおこの調査をすすめるにあたり、松陰神社通りまちづくり協議会、世田谷区世田谷総合支所街づくり課、NYネットワーク山崎氏のみなさまの多大な助力を得た。ここに記して感謝する。

〈参考文献〉

- 1) 渡辺、牧野、橋本、長谷川：コミュニティゾーンにおける交通安全施策効果の検証、第25回交通工学研究発表会論文報告集、pp205 - 208、2005
- 2) 鈴木、葛山、南部、高田：交通安全対策としての交差点ハンプの評価、第25回交通工学研究発表会論文報告集、pp201 - 204、2005



図－３ 通過交通



図－４ 時間帯別・分類別 駐車台数

表－２ 通り抜けの所要時間と幹線道路の所要時間の差

時間	通り抜け	幹線道路	効果
8～9時	3分00秒	3分12秒	12秒
17～18時	3分00秒	5分29秒	2分29秒



図－５ 地区交通の改善策